

三保地区

三保地区別計画推進委員会

地域 三保町

緑区の中央に位置し、地区の南側は旭区に隣接しています。北側約半分には、いくつかの集合住宅と既存の住宅など、住宅地が広がっています。南側には「三保市民の森」など広大な緑地が残されていますが、ここ数年間で開発が進み、住宅が増えています。

また、特別養護老人ホームなどの高齢者施設が多くあります。

<主な関連施設>

最寄駅：中山駅（JR横浜線・横浜市営地下鉄グリーンライン）

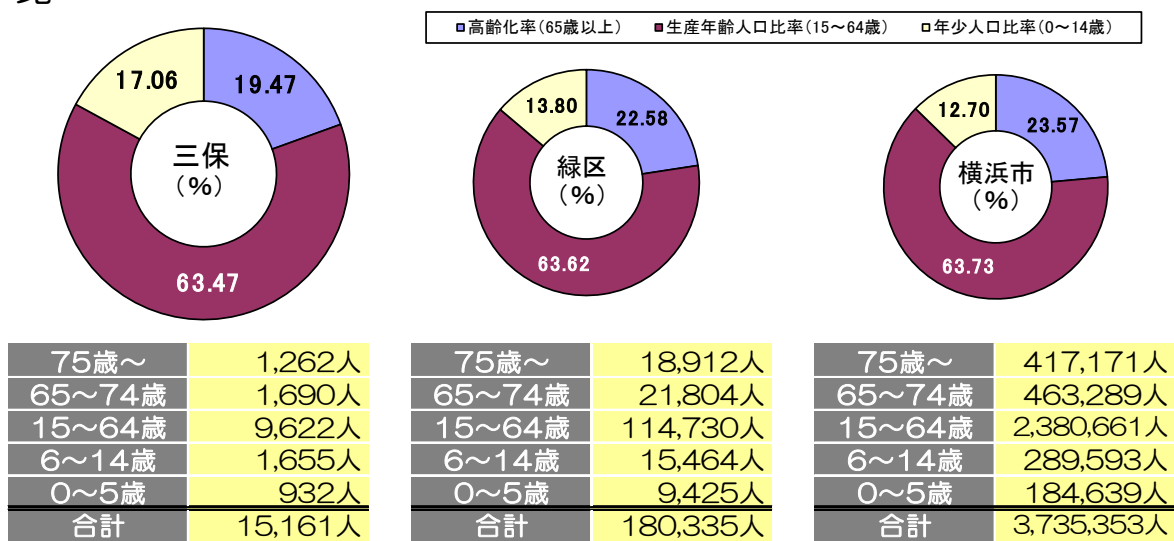
震災時避難場所（地域防災拠点）：三保小学校

地域ケアプラザ等：横浜市中山地域ケアプラザ

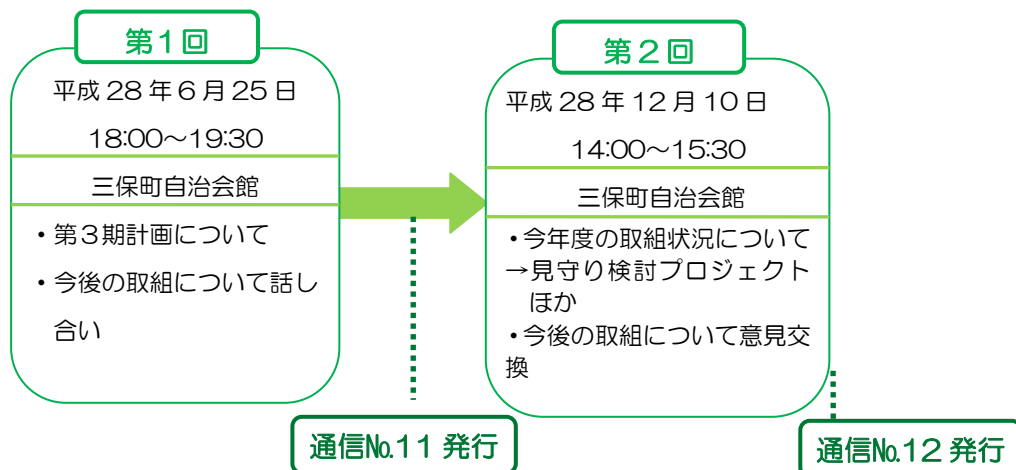
<年齢区分別人口>

平成29年(2016年)9月末

人口比



地区別計画推進委員会の開催状況



緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成28年度地区別計画推進状況



三保地区



地域での「見守り」を促進し、安心して住める街を目指します！

地区別計画の3つの目標について取組を進めました！

地域でのつながりを大切にし、活動を活発にしたい

地域での見守り活動を進めるため、「三保地区見守り検討プロジェクト」を開催しました。

この中で、地区を担当する新聞販売店とも協議し、新聞販売店スタッフが配達や集金等で地域を巡回する際に、高齢者や子ども等の見守りに協力してもらい、異変があった際の相互連絡体制を整えた「地域見守り活動に関する協定」（地域ささえあい活動）を締結しました。



（写真：「新聞販売店との協定締結時」の様子）

落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい



前述の「三保地区見守り検討プロジェクト」での検討を踏まえ、新たに「三保地区見守り・居場所づくり検討委員会」を平成29年1月に組織し、地区内で気軽に集うことができる「居場所づくり」の検討が始まりました。

（写真：「第2回地区別計画推進委員会」の様子）

地域が団結して、防災力を高めたい

平成25年度に完成した「三保地区防災マップ」の作成時に地区毎に定めた「いっとき避難場所」をより多くの人に知っていただき、意識してもらえるよう、新たに案内プレートを作成し、各「いっとき避難場所」に設置を進めています。

いっとき避難場所

大規模災害が発生したときに一時的に集まる地域の決められた場所です。



⑩ 三保市民の森

三保地区連合自治会
三保小学校地域防災拠点運営委員会

（画像：いっとき避難場所案内プレート）

第3期計画の地区別目標を達成するため、今後もこれらの取組を積極的に推進し、誰もが安心して住み続けられる地域「三保」を目指します！

三保地区別計画推進委員会



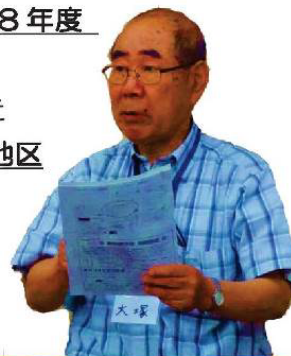
三保地区別計画推進委員会
平成28年7月発行 第3期No.1 (通算No.11)

三保地区別計画推進委員会通信

平成28年6月25日(土)午後6時から、三保町自治会館で、「平成28年度第1回 三保地区別計画推進委員会」を開催しました。

委員会は、大塚新委員長のあいさつで始まり、今年度からスタートした第3期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」の「三保地区別計画」をあらためて確認するとともに、これからの取組について、話し合いを行いました！

大塚新委員長▶



みどりのわ・ささえ愛プラン 三保地区別計画とは？

福祉・保健に関する課題の解決に向け、区民や団体、事業所、地域ケアプラザ、緑区社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む、緑区の『地域福祉保健計画』です。三保地区では、3つの目標を定め、今年度から第3期計画がスタートしました。

第3期計画始動！

三保地区別計画 (平成28~32年度)

目標1

地域でのつながりを大切にし、活動を活発にしたい

目標2

落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい

目標3

地域が団結して、防災力を高めたい



目標
1

地域でのつながりを大切にし、活動を活発にしたい

<具体的な取組から抜粋>

- 子育て中の人に参加できる機会・場を増やし、継続して活動できるようにしたい。
- 地域のイベントや活動を知ってもらうため、広報や情報提供を充実・工夫し、担い手の確保や若い人をはじめとした参加者の幅を広げたい。
- 団体・個人を問わず、日頃からあいさつする関係をつくり、地域のつながりを深めたい。
- ウォーキングやラジオ体操など、健康づくり活動を充実し、「つながり」づくりを進めたい。

目標
2

落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい

<具体的な取組から抜粋>

- 公施設の整備を目指し、地域が一体となって実現に向けて努力していきたい
- 自治会館・集会所の相互利用や民間や福祉施設などの空いているスペースの利用促進も引き続き調整していきたい。
- 学校開放の機会を活用するなど、工夫して地域活動を充実させたい。
- いつでも立ち寄れる交流の場として、交流サロンなどの開設についても検討を進めたい。

目標
3

地域が団結して、防災力を高めたい

<具体的な取組から抜粋>

- 連合自治会を中心に、各自治会と各種団体が連携しながら、防災に関する取組を強化したい。
- 「防災マップ」などを活用して、災害に対する備えや「いっとき避難場所」に関する情報を共有して、防災意識を高めていきたい。
- 災害時に支援が必要な人の把握に努め、誰がどのように支援していくのか計画が立てられるよう、見守り・支援の仕組み及び体制づくりの検討を進めたい。

三保地区別計画推進委員会って何？

「みどりのわ・ささえ愛プラン 三保地区別計画」の推進に向け、具体的な取組の検討、情報共有、意見交換等を行っています。下記の団体の代表者により構成しています。

連合自治会、自治会、社会福祉協議会、民生委員児童委員、主任児童委員、保健活動推進員、消費生活推進員、青少年指導員、友愛活動員、少年補導員、防犯指導員、老人クラブ連合会、三保おやし団、ボランティアみほ、隣友会、三保小学校PTA、三保小学校 (順序不同)

<委員会の様子>

委員会では、まず、第3期計画の概要、平成27年度の取組の振り返りを行いました。
その後、新たな活動の報告や今後に向けた意見交換を行いました！



▼フォレストヒルズ三保自治会 中村会長より

活動報告

連合自治会主催の「認知症予防 健康麻雀」が5月にスタート！フォレストハウスを会場に、毎月第4月曜日に実施しています。
「賭けない」「吸わない」「飲まない」をモットーに、合間にラジオ体操を取り入れて、体を動かす工夫をしています。



▲5月の「健康麻雀」の様子



▲意見交換の様子



▲貼り出された委員の皆さんの意見

三保地区の現状と課題について意見交換を行いました。



意見交換で話された主な意見を紹介します！

目標1 地域でのつながりを大切にし、活動を活発にしたい

- ・ひとり暮らしの高齢者や子どもの虐待、災害時の要援護者の把握などについて課題があると感じている。他の地区での取り組みを参考にしながら、地域での見守り活動について実施方法を検討していきたい。⇒**プロジェクトを結成！**
- ・子どもの見守りは、犬の散歩や夕刊の新聞配達等の機会を活用してはどうか。



目標2 落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい

- ・見守りを行っていく上で、拠点となる場所が不足している。
- ・子育て世代の転入者が多く、運動公園など子供達が集まれる場所が必要。

目標3 地域が団結して、防災力を高めたい

- ・災害時の要援護者マップを作成している自治会もある。アンケート実施やご近所同士の情報も活用し、防災に役立てていくことができないか。
- ・要支援者登録票は代筆が必要な高齢者もいる。また、個人情報であるため、廃棄・更新等の管理も必要。



平成28年度は見守り活動のプロジェクトを発足し、進めていくことに決まりました！

<連絡先>
三保地区 地区別計画推進委員会事務局
TEL：930-2364（緑区生活衛生課）



三保地区別計画推進委員会
平成29年2月発行 No.12

三保地区別計画推進委員会通信

第2回三保地区別計画推進委員会を開催しました！

平成28年12月10日（土）三保町自治会館において、「平成28年度第2回みどりのわ・ささえ愛プラン三保地区別計画推進委員会」を開催し、平成28年度の取り組みを振り返るとともに、三保地区別計画の更なる推進に向けた話し合いを行いました。

当日は、地区別計画のこれまでの取り組み状況を振り返り、委員の皆様で意見交換を行いました。



委員会の様子

★これまでの取り組み★

第1回の地区別計画推進委員会において、「地域のつながりを大切にするため、様々な団体や事業者と協力して見守り活動を進める。そのためにプロジェクトを立ち上げ、『地域での見守り活動』について検討する」ことが決まりました。志村新聞舗、読売センター中山の両新聞販売店と協議を重ねた結果、9月14日に、地域の子どもや高齢者の見守り活動に協力してもらう地域見守り活動に関する協定を結ぶことができました。高齢者の見守り活動は他の地域でも行っていますが、子どもを見守りを対象に入れたのは三保地区が初めてです。



9月14に行われた調印式

こんな取り組みも行っていきます

5月から認知症予防の健康麻雀を実施しています（フォレストヒルズ）

ラジオ体操など健康維持の取り組みを行っています（老人クラブ）

子どもたちの下校時の見守りや防犯としてパトロールを行っています（各自治会）

畑でイベントを実施しています（おやじ団）

続いて、第3期計画の推進や今後の取り組みについても活発な意見交換を行い、方向性を確認しました。実際に取り組みを推進していく立場である委員の皆様から、課題解決に向けた新たな取り組みが提案されるなど、様々な意見があがりました。



意見交換の様子

委員の皆様からの主なご意見

●第3期計画推進に向けて

気軽に立ち寄れるカフェやコミュニティハウスなど、居場所づくりを進めたい

ウォークラリー、子どもフェスタなどのスポーツイベント以外に、文化的なイベントを開催したい

畑での花植体験などを通じた居場所づくりや地域活動の推進、簡易トイレを使用した災害時訓練を実施していきたい

●今後の委員会の進め方について

空き家や空き店舗を活用した居場所づくりについて、委員会方式で検討していきたい

●その他

地区別計画推進費は、いっとき避難場所の看板設置や健康麻雀に活用したい



委員紹介 委員会は下記各団体等の代表者で構成しています。

- 連合自治会 ●各自治会 ●地区社会福祉協議会 ●民生委・児童委員 ●主任児童委員 ●保健活動推進員
- 消費生活推進員 ●青少年指導員 ●スポーツ推進委員 ●老人クラブ連合会 ●防犯指導員 ●少年補導員
- 連合子ども会 ●ボランティアみほ ●隣友会 ●三保おやじ団 ●友愛活動員 ●三保小学校PTA ●三保小学校

三保地区別計画（平成28～32年度）

目標1

地域でのつながりを大切にし、活動を活発にしたい

目標2

落ち着いて活動できる活動拠点を増やしたい

目標3

地域が団結して、防災力を高めたい



- 今後は、団体間で情報共有しながら、見守りの推進と居場所づくりのための“見守り・居場所づくり検討委員会”設置を推進していきたいと思えます。
- また、今回の委員会で出された意見を踏まえ、第3期計画推進に向けても、地域の様々な取組を整理しながら、話し合いを進めていきます！

<連絡先> 三保地区 地区別計画推進委員会事務局
 緑区生活衛生課
 TEL：930-2364